

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 20 日

1. 職名・氏名 准教授 成田光江

2. 学位 学位 修士、専門分野 社会福祉学、授与機関 日本福祉大学、授与年 2007 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ○成人慢性看護学（2）2 年生、○成人慢性看護学実習（2）3 年生、 ○療養生活マネジメント実習（2）3 年生、○卒業研究（2）4 年生
② 内容・ねらい ○成人慢性看護学演習：設定した模擬患者に対する看護過程の展開。看護過程や看護記録の書き方の講義も行い、3 年後期からの実習に備える。 ○成人慢性看護学：慢性疾患や難病を抱えた患者・家族に必要な看護、医療制度、多職種連携、入退院支援、地域包括ケアシステム等を学び、看護や支援のあり方や方法を理解する。 ○療養生活マネジメント学実習：福井県立病院での実習。生活習慣病や難病、整形外科疾患等により患し、入院治療を行った患者・家族の退院後の療養生活に必要な看護実践、多職種連携、入退院支援、地域連携システムを理解する（医療・福祉人材の育成）。 ○卒業研究：3 名担当。福井県の医療介護連システム、入院支援、がん告知に関する研究等の研究計画書の指導。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ○成人慢性看護学演習： 実例を用いた模擬患者を設定し、実習で使用する記録用紙を用い、看護過程の展開と看護記録が理解できるよう、講義を交えて支援した。 ○成人慢性看護学：実例を用い、慢性疾患、難病患者・家族の治療・療養・生活支援における多職種連携や入退院支援、地域包括ケアシステムの構築に関する具体を説明した。 ○成人療養生活マネジメント学実習：福井県立病院に入院する慢性疾患や難病等を抱える患者・家族と、患者・家族を支える病棟看護師や退院支援看護師、MSW をはじめとする多職種とのかかわりを通し、医療・福祉人材として自ら学び成長することができるよう、学生の自立を支援した。
(2)その他の教育活動
内容 ○放送大学 福井学習センター 面接授業講師（2020 年 11 月 28－29 日） ○東京通信大学 在宅看護学 特別講師（2020 年 8 月 22 日収録）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書 ○臨床老年看護『地域包括ケアの理解と看護の役割』p6－9、2020年7・8月号、日本総合研究所.	【1本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
④ その他論文（査読なし）	【0本】
⑤ 学会発表等	【0件】
⑥ その他の公表実績 ○地域経済研究所メールマガジン『福井県の在宅医療・介護と地域包括ケアシステム』 2021年1月. ○福井県人口減対策アンケート調査報告書（調査委員）：2020年8月アンケート調査、 12月報告書	【2本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ○福井県人口減対策アンケート調査（福井県）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- 一般社団法人 みなと地域包括ケアシステム研究所：医療・療養・介護相談、全年代・全領域型地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援、多重ケア、複合課題に関する普及・啓発活動
- 公開講座（後期） 食えること・飲み込むこと－誤嚥性肺炎の予防法－
福井県立大学地域連携本部、福井県歯科医師会、福井県理学療法士会、福井県作業療法士会、福井県言語聴覚士会、福井県立病院との協働で、オンデマンド演習研修会の内容を検討・ビデオ作成・公開（12月～）
- 福井県看護協会 看護研究指導（林病院）（2020年6月～現在に至る）
- 福井県国民健康保険連合会職員研修（2020年12月）
- 福井県介護支援専門員協会 介護支援専門員研修（福井県介護支援専門員研修）（2020年12月、2021年2月）

6. 大学運営への参画

(1)補職

- 地域経済研究所 兼担（2020年4月～現在に至る）

(2)委員会・チーム活動

- 看護学専攻博士課程 PT（2019年10月9日～2020年11月9日まで）
- 研究活性化 WG（2020年12月～現在に至る）
- 福井学 WG（2019年度より現在に至る）
- カリキュラム委員会委員（2020年5月～現在に至る）
- カリキュラム委員会 部会委員（2019年度より現在に至る）
- 看護学研究科修士論文委員（2020年4月～現在に至る）
- 地域志向科目部会委員（2020年4月～現在に至る）
- 看護学科4年生副担任（2020年4月～現在に至る）

(3)学内行事への参加

- 武生高校入試説明会（2020年8月5日）

(4)その他、自発的活動など